

令和7年度 高御堂小学校 第1回学校運営協議会【報告】

令和7年5月29日（木）

10:45～13:00 会議室

- 1 はじめのことば
- 2 校長あいさつ（※学校運営協議会委員委嘱・任命状交付）
- 3 学校運営協議会委員紹介（一部敬称略）

地域代表	森 正一	地域学校協働活動推進員 松下南・松下中民生委員・児童委員
	大津 新三	スクールガード 前高御堂南民生委員・児童委員
	小沢 康一	スクールガード 前松下西民生委員・児童委員
	近藤 誠一	前高御堂住宅南民生委員・児童委員 プラスワン講師
	村山 一男	スクールガード 高御堂北民生委員・児童委員
	前田 隆司	令和7年度高御堂小学校教育後援会長 令和7年度高御堂小地区体育振興会長
保護者代表	大津 一範	令和7年度PTA会長
	須永 衣代	令和7年度PTA副会長・家庭教育委員
教職員代表	國宗 勝利	校長
	串田 啓介	教頭
	梶浦 智弘	教務主任
	堀田 忠孝	校務主任
	三浦 月香	県事務職員

- 4 校内めぐり（授業参観）
- 5 学校運営協議会とは
 - （1）学校運営協議会設置の目的【校長】
 - （2）学校運営協議会構想図【校長】
 - ・ 学校運営協議会は、学校と地域住民及び保護者との信頼関係を深め、地域全体で子どもを育てることを目的として設置されるものである。学校の取組について、意見や評価をいただきながら、よりよい学校をつくっていききたい。
 - ・ 地域学校協働活動を推進するための地域学校協働本部は、稲沢市教育委員会が設置者となっているが、なかなか実体化できていない部分もある。どのように本部をつくり、地域学校協働活動を進めていくのかについても考えていきたい。
- 6 協議事項
 - （1）会長及び副会長の選出
（協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により、選出する。第11条）
 - 令和7年度 会長（森 正一） ○ 令和7年度 副会長（大津 一範）
 - ・ 保護者、地域と連携し、子どもたちの健全な学びを推進していきたい。それぞれの立場の代表だという意識も必要だが、一人一人が個人として忌憚のない意見を話すという姿勢も大切にしていけるとよい。【森会長】
 - （2）学校運営の基本方針
 - ・ 学校運営の基本方針【校長】

今年度のテーマは「よく考えて活動し、互いに認め合いながら自分のよさを実感できる児童の育成」である。児童がよく考えて活動できるように工夫して、教育活動を行っていく。結論よりも、過程に重きを置きながら、児童一人一人が、他者から自分の考えを認められる経験を積み重ねられるようにする。高御堂小学校の合言葉「はなさくよ」も引き続き大切にしていく。
 - ・ 学校評価項目について【教頭】

項目をある程度固定化し、経年変化の分析から、よりよい学校運営を目指していきたい。
 - ・ 本校の教育活動について【教務主任】

学ぶ意義や価値を理解し、主体的に学ぶ児童の育成に重点を置き、教育活動を行う。
 - ・ 教育環境整備について【校務主任】

子どもの安心、安全につながるものを第一に考え、教育環境の整備を進めていく。

(3) 年間活動計画【教頭】

- ・ 学期に1回ずつ、学校運営協議会を予定している。

(4) 各連携部の具体的活動【教頭】

- ・ 地域連携部、学習支援部、環境安全部に分かれ、熟議を行っていききたい。

(5) 質疑・意見交換

- ・ 配膳室の工事、給食のセンター化が完了したら、もう自校では給食は作らないのか。
→ 調理員は給食センターに移り、給食はセンターから決まった時間に配送される。
- ・ 防犯カメラはどこに付いていて、何カ所あるのか。モニターを見ている職員はいるのか。
→ 常時見ていることは人的に不可能ではあるが、複数のカメラの映像を大型モニターに映して、こまめに見るようにしている。門や玄関が写るように設置してある。カメラがあることを知らせる看板を増設するなどして、抑止力を高めていく。
- ・ 学校の門について、訪問者が自由に開閉できるようでは不安である。予算的に厳しいのは分かるが、門扉へのインターホンの設置、オートロックシステムなどの導入を、市として考えていくことができるかというのではないかと。
- ・ 災害に対しての心配がある。ゲリラ豪雨のときに気を付けるポイントを学校でも教えてほしい。地震の際の避難場所や備蓄食料について、家でも話し合えるように学校からも指導してほしい。子どもたちの防災意識を高めてほしい。
→ 避難訓練の際には、たとえ一人でも、よく考えて適切に行動できるような指導を心掛け、自分の命を守ることでできる児童を育てていく。
- ・ 算数セットについて、保護者の時間的経済的負担を考え、備品化してほしい。
→ 備品化には長所と短所がある。稲沢市の学校間でも相談を重ね、よりよい方法を探していきたい。

7 その他

(1) 地域学校協働活動について【森会長】

稲沢市としては、地域と学校が協働して様々な活動を行ってほしい、学校を核とした地域づくりをしてほしいというねらいがある。具体的には、休業日に行う学習やその他の活動であったり、ボランティア、自然体験活動であったりを例示されるが、地域学校協働活動がどのようなものかわかりにくい。今行っている高御堂小学校の活動、PTAの活動をベースに、地域学校協働活動を推進していくことができるようご協力をお願いしたい。

(2) 学校地域課題についての情報共有及びグループ協議

子どもたちにどのような大人に成長してほしいかについて、意見交換を行った。今後、これらを踏まえながら、学校の教育活動を行ってきたい。それと同時に、運営協議会委員の皆様と一緒に、それぞれの立場で目標を考えながら、実行に移していきたい。

【どのような人に育ってほしいか】

- ・ 地元に帰ってきてくれるような人
- ・ 地元に愛や誇りをもつことができる人
- ・ 人と人とのつながりを大切にし、それを次の世代に伝えていくことができる人
- ・ 挨拶から地域づくり 絆づくりを進め、自分から挨拶をすることができる人
- ・ 多様な価値を大切にしたい社会づくりのできる人
- ・ 誠実で、前向きな人
- ・ 自他を大切にすることができる人
- ・ この地域で学んだことを大切にしたり、よいことを新しく取り入れたりして、社会人として他の地域に移動したとしても流されない人
- ・ 思ったことをまずやってみることができ、責任をもち最後まで取り組むことができる人

